

情報学委員会デジタル社会を支える安全安心技術分科会（第 25 期・第 3 回）

議事要旨

日時：令和 3 年 7 月 12 日（月）14:00～16:00

場所：Zoom による遠隔会議

出席者（敬称略）：木村、澤、高田、馬奈木、宮地、岩村、佐藤、佐古、須藤、
高木、中尾、松浦、楠

配布資料：

資料 3-1 安心安全技術分科会 3 回目-20210712-v7.pdf

1. 提言にむけて

以下の 2 件の話題提供が行われた。利活用を意識した匿名加工、組織としても考えるべき研究倫理、医療情報のデータベース化における諸問題、COCOA 開発から得られた教訓、技術的な安全性を伝えることの難しさ、目的を意識したデータ収集の重要性、規制によって学術発展が阻害されることへの懸念などに関して、質疑が行われた。

1-1. 澤 芳樹 氏（大阪大学大学院医学系研究科・教授 第二部会員）

「DX 時代における医療情報の現状とリスク」

1-2. 楠 正憲 氏（Japan Digital Design 株式会社 Chief Technology Officer）

「コロナ禍と行政デジタル化の展望」

2. 全体議論

収集したデータに関して、利活用の目的を踏まえたうえでリスクや規制を考えることの重要性などに関して、総合的な議論が行われた。

3. 今後の話題提供について

次回の話題提供は、後藤厚宏先生（情報セキュリティ大学院大学）と佐藤委員
にお願いすることとした。

4. 次回の会議予定

計画通り、2021 年 9 月を予定している。

5. その他

5-1. 定足数の確認：委員 14 名中 12 名が出席し、定足数が満たされたことを
確認した。

以上